

シンポジウム

Transition Support としての退院支援

酒井 禎子¹⁾

I. はじめに

緩和ケア中心の医療へと移行するがん患者と家族の体験をとらえる概念として「transition (移行)」をとりあげ、概念分析を行った。がん患者と家族にとって緩和ケア中心の医療への「移行」のプロセスは、病状を受け止め、今後の療養生活の方向性を見定める上での意思決定と、療養の場の移行の両面から考察する必要がある。「transition」という概念の特性から考えられる、援助の枠組みとはどのようなものか、概念分析の結果をふまえて報告する。

II. がん患者と家族の「transition」の概念分析

概念分析では、Rodgers (2000) の手法を参考にした文献レビューによる理論的アプローチと、緩和ケア病棟への transition を経験した患者・家族へのインタビューによる経験的アプローチの2つの手法を用いた。文献レビューでは、CINAHL のデータベースを用い、「transition」がタイトルに含まれている、1996年1月から2011年12月までのがんに関する英語文献の検索を行った。結果、28文献を分析の対象とした。次に、がん専門病院や総合病院から緩和ケア病棟へ転院・入院した患者や家族10事例の面接から得られたデータからも分析を行った。これらのアプローチから得られた transition の属性、先行要件、帰結から、がん患者と家族の transition の概念図を作成した。

Transition の属性として、【プロセス】【認識すること】【不確かさと脆弱性】【意思決定】【多面的な反応パターン】【相互作用】が含まれていた。先行要件は、【変化】とそれに続く【医療者の告知・説明】、また、患者・家族が transition のレベルに達しているかを示す【transition レディネス】も先行要件であると考えられた。Transition の帰結には、身体的および心理・社会的な指標や継続性・安定性の感覚などプロセス指標となりうる短期的なもの、看護のゴールともいえる長期的な帰結が見出された。このように、がん患者と家族における transition は、がんに関連した病状などの【変化】を、【医療者の告知・説明】を通して個人が【認識すること】によって生じる【プロセス】であった。transition のプロ

セスは、【不確かさと脆弱性】によってもたらされたストレスフルな状況に、【相互作用】を通して対処する個人の【多面的な反応パターン】を含んでいるとともに、【意思決定】が求められる体験でもあった。

III. 緩和ケア病棟への移行における意思決定支援モデル

これらの結果をふまえて、4つの段階からなる「緩和ケア病棟への移行における意思決定支援モデル」の試案を検討した。

第1段階では、患者・家族の不確かさを軽減することを目的とし、移行前の治療期にあるがん患者と家族に対して、緩和ケアとその資源に関する知識提供を行うことが主たる支援である。第2段階は、移行の認識を高めるための支援であり、移行の必要性和タイミングを把握し、患者の脆弱性を考慮しながら、インフォームドコンセントの時期や患者・家族の準備状態を的確に判断するための多職種アセスメントツールを軸に展開することが求められる。第3段階は、療養の場の移行に関する意思決定への支援であり、意思決定へのセルフケア支援にくわえ、移行に伴う心理的・行動的反応への支援として、意思決定に活用できる情報の提供と心理的支援を並行して行うよう構成する。第4段階では、患者・家族の移行の帰結を評価するものとして、身体的・心理的变化のアセスメントと、意思決定への迷いを抱える患者・家族へのカウンセリングを含めている。

IV. おわりに

本モデルはまだ開発途中であり、これまでの調査から、緩和ケア主体の医療へと向かうがん患者・家族の transition は、患者・家族自身、そして彼らを取りまく医療者や地域社会の文化が大きく影響していると考えられる。今後は、在宅緩和ケアを含めた地域性に基づく資源の中で適用できるモデルに改良していくことが課題である。

〔本報告は、平成20～22年度科学研究費補助金基盤研究 (C) の助成を受けて行った研究「緩和ケアに移行するがん患者・家族の意思決定支援モデル構築」(課題番

1) 新潟県立看護大学

号20592551) の一部である]

引用文献

Rodgers, B. L. (2000). Concept Analysis: An Evolu-

tionary View. Rodgers, B. L., Knafl, K. A.. *Concept Development in Nursing: Foundations, Techniques, and Applications*, 2nd edition, (p.77-102). Philadelphia: W. B. Saunders Company.